

2013年(平成25年)3月16日 土曜日



協定に調印した武田学部長(左)と小宮山校長

## 信大理学部と松本秀峰 協定

### 理系教育で連携

### 学生と生徒交流

松本市の信州大理学部と松本秀峰中等教育学校は15日、理科や数学の分野での教育連携協定の調印式を信大で開いた。学生が同校を訪れ生徒に理科の実験を指導したり、生

徒が同学部研究室で見学や実験をしたりする。

武田三男・理学部長は、学年が上がるにつれて理系科目に苦手意識を抱く子どもが多いとし、「中等教育学校の設備ではできない実験や最先端研究に触れ、自然科学の面白さを感じてほしい」と話した。教職員を目指す学生にとって

も教育現場を体験する貴重な機会とした。

同校の小宮山淳校長は「大学との交流で、大学入学がゴールではなく、入ってからど

んなことをしているのかを知ることができる。生徒の興味関心が開けることを期待している」と話した。